

家具類の転倒・落下・移動防止対策 ハンドブック

— 室内の地震対策 —

やくみつる画



東京消防庁

【学生によるポスター・リーフレットのデザイン制作】

地震に備えて! かぐてんたいさく

家具転対策



していますか? “地震から命を守る家具転対策”

 <p>L型金具</p>	 <p>ボール式+ ストッパー式</p>	 <p>ストラップ式・ マット式</p>	 <p>ガラス飛散防止 フィルム</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

制作: HAL東京 CG・デザイン・アニメ4年制学科 本多 葵 ※家具転(かぐてん)対策とは、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略です。

地震から命を守る家具転対策

—あなたの準備が大切な人の命を救います—

令和6年1月

東京消防庁防災部震災対策課

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



家具転対策ハンドブック

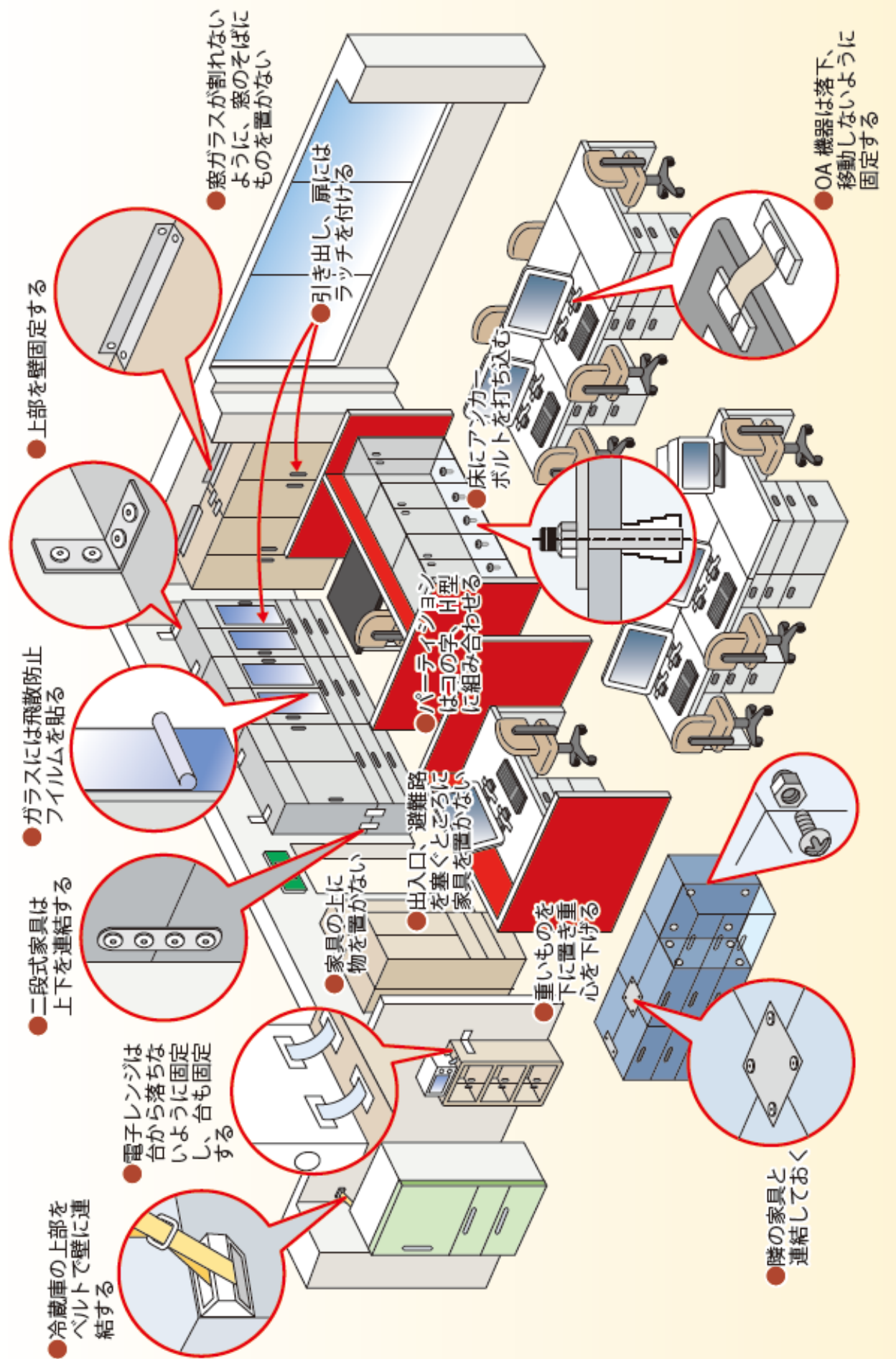
東京消防

検索



家具転対策HP

オフィス家具等の転倒防止対策の例



- 冷蔵庫の上部をベルトで壁に連結する
- 電子レンジは台から落ちないように固定し、台も固定する
- 二段式家具は上下を連結する
- ガラスには飛散防止フィルムを貼る
- 上部を壁固定する
- 引出し、扉にはラッチを付ける
- 窓ガラスが割れないように、窓のそばにものを置かない
- パーティション型はコの字の字に組み合わせる
- 出入口、避難路を塞ぐとどろに家具を置かない
- 家具の上に物を置かない
- 重いものを下に置き重心を下げる
- 隣の家具と連結しておく
- 床にアンカーボルトを打ち込む
- OA機器は落下、移動しないように固定する

(*) 一部加筆

はじめに

東京消防庁が実施した近年の地震被害調査では、負傷者の約3～5割の方々が屋内における家具類の転倒・落下によって負傷していることが判明しています。

東京消防庁では、平成15年宮城県北部地震や平成16年新潟県中越地震の調査結果などから、平成16年度から17年度にかけて、地震時に室内で発生する負傷者を減らすために、家庭用家具、家電製品、オフィス家具類の転倒・落下防止対策に関する委員会を設置し、実験・検討を行い、平成18年3月に具体的な転倒防止方法等を公表しました。

平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震の調査結果を踏まえ、転倒防止に有効な壁や天井の構造と補強方法等についての検討を加え、平成23年3月に発生した東日本大震災では、家具類の転倒・落下・移動が高層階に行くほど多く発生している傾向が確認されたことから、長周期地震動等に対する高層階の室内安全対策専門委員会を設置し、高層階等における家具類の転倒・落下・移動防止対策の検討を行いました。

平成27年4月に、東京都知事の諮問機関である東京都火災予防審議会（地震対策部会）から「地震火災による人的被害の軽減方策」について答申がなされ、家具類の転倒・落下・移動防止対策が地震時の出火防止としても有効であり、火災による死者数の減少に大きく寄与することが示されました。

その後、平成30年9月の夜間に発生した北海道胆振東部地震では、地震による大規模停電が発生し、暗い中室内を移動したため、転倒による負傷者が発生したことや、令和3年2月の夜間に発生した福島県沖を震源とする地震では、家財の下敷きによる被害や本人転倒、家具類の転倒等に起因する負傷者が発生したことから、家具転倒対策の重要性や停電の長期化に伴う室内安全対策の重要性が改めて確認されました。

このように過去の地震から得られた教訓を踏まえて、本ハンドブックは委員会や実験等を行い、地震による室内の被害からご自身やご家族、職場における従業員や顧客を守るために必要な対策を紹介しています。また、これらの対策を正しい方法で効果的に行うためのポイントについてもとりまとめています。

家具類の転倒・落下・移動防止対策（略して「家具転倒対策」）は、地震が発生した際にご自分を守る「自助」だけでなく、「共助」として、ご家族や近隣住民の助け合いへとつながる重要な対策です。

本冊子を大いに活用していただき地震に備えて頂くようお願いいたします。

このハンドブックが対象とする家具類等

- 家庭内のタンス、本棚、食器棚などの家具
- 事務所内のキャビネット、ロッカーなどのオフィス家具
- テレビ、冷蔵庫、電子レンジなどの家電製品

（*付イラストは、一般社団法人日本オフィス家具協会提供）

目 次

●	なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの？	p1
	・家具類の転倒・落下・移動による被害	p1
	・東日本大震災における教訓	p2
●	地震による家具類の動きと被害	p3
●	震度と長周期地震動階級	p4
	・気象庁が発表する震度	p4
	・気象庁の長周期地震動に関する観測情報	p5
●	地震に対する家具類への対策	p6
	・家具への収納方法	p7
	・安全な家具の配置	p7
	・家の安全スペース	p9
	・対策器具の種類	p10
	・地震動に対する対策器具の効果	p12
●	家庭用家具の転倒・落下・移動防止対策	p13
	・壁に固定する場合	p13
	・付け鴨居に固定する場合	p14
	・ポール式器具・ストッパー式器具の取付け方法	p15
	・連結金具の取付け	p16
	・ガラス飛散防止フィルムの貼り付け	p16
	・扉開放防止器具の取付け	p17
	・書棚等の収容物落下防止	p17
	・家具類の移動防止対策	p18
	・大きくゆっくりとした周期の長い揺れに対する家具類への対策	p19
●	家電製品の転倒・落下・移動防止対策	p20
	・テレビの転倒・落下・移動防止対策	p20
	・冷蔵庫の転倒・移動防止対策	p21
	・電子レンジの落下・移動防止対策	p21
●	オフィス家具類の転倒・落下・移動防止対策	p22
	・東日本大震災における東京都内のオフィス内の被害	p22
	・家具の配置・物の置き方	p23
	・オフィスの安全スペース	p25
	・キャビネットの転倒防止対策	p26
	・書架・物品棚・移動ラックの転倒防止対策	p27
	・コンクリート壁への固定方法	p28
	・軽量鉄骨下地中空壁への固定方法	p28
	・フリーアクセスフロアで固定する場合	p29
	・床材質と家具の転倒・移動	p29
	・デスク周辺での注意	p31
	・ローパーテーションの固定方法	p32
	・複写機・複合機・デジタル印刷機の転倒・移動防止対策	p32
●	多く寄せられる質問	p33
●	チェックリスト	p35
	・家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリスト	p35
	・オフィス内の転倒・落下・移動防止対策チェックリスト	p38